

「JAの自己改革に関する組合員調査」  
JA静岡市 最終集計結果  
(令和元年5月末日締め)



令和元年8月  
JA静岡市



# 「JAの自己改革に関する組合員調査」の結果について

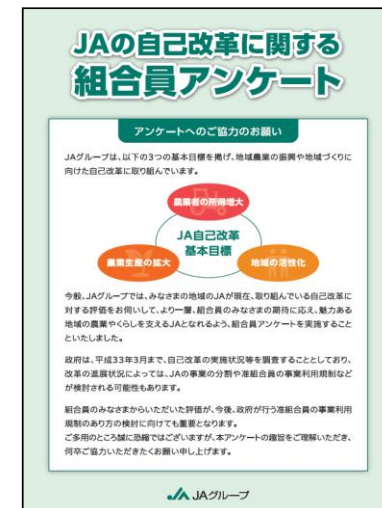
昨年10月から実施した「JAの自己改革に関する組合員調査」(全組合員調査)につきましては、ご協力いただき大変ありがとうございました。最終結果がまとまりましたのでご報告いたします。

## 【調査結果】

- 「JAは必要な存在か」、「JAの総合事業は継続すべきか」いずれについても、組合員の90%超が肯定的回答をしています。
- 営農指導事業、販売事業、生産資材購買事業のいずれの事業においても、正組合員全体で、期待度は71%以上、満足度は57%以上、改善度は70%以上が肯定的回答となっています。
- 自己改革の取組みを知っている方は、組合員全体で66%以上となり、特に正組合員・認定農業者で73%以上が何らかの方法で自己改革の取組みを知ったと回答しています。
- 准組合員の97%が「JAの地域農業の振興や地域づくり活動」を応援したいと答えています。
- 准組合員の事業利用規制については、正組合員も准組合員も90%を超える方が規制に反対し、准組合員がこれまでと同じようにJA事業を利用できることを望んでいます。

## 【調査の概要】

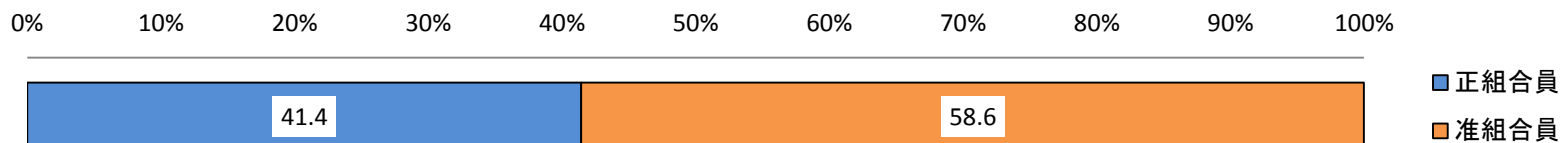
1. **調査対象**：原則、全正組合員および准組合員27,079人  
ただし、所在不明者や相続案件等、組合員都合により調査が実施できない場合は、該当組合員を調査対象から除外
2. **調査期間**：平成30年10月～平成30年12月の3か月間  
(実際は、郵送を含め平成31年4月まで)
3. **調査方法**：役職員の訪問・面談等によるアンケート調査 (一部郵送)
4. **回収人数**：16,890人
5. **回収率**：71.8%



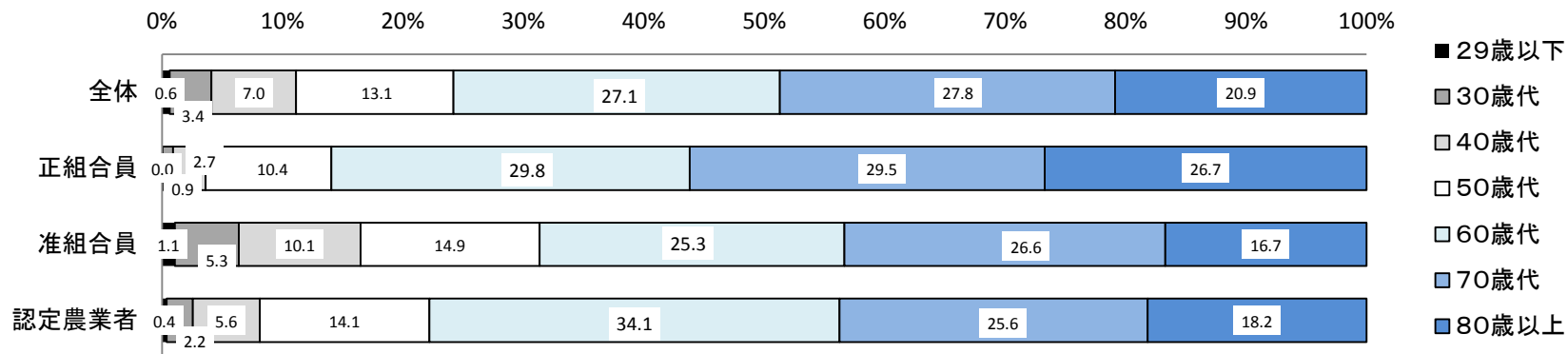
# 回答者の属性

○ 有効回答数16,734件のうち、正組合員は6,934件(41.4%)、准組合員は9,800件(58.6%)。

## 正・准組合員の分布



## 年齢別分布

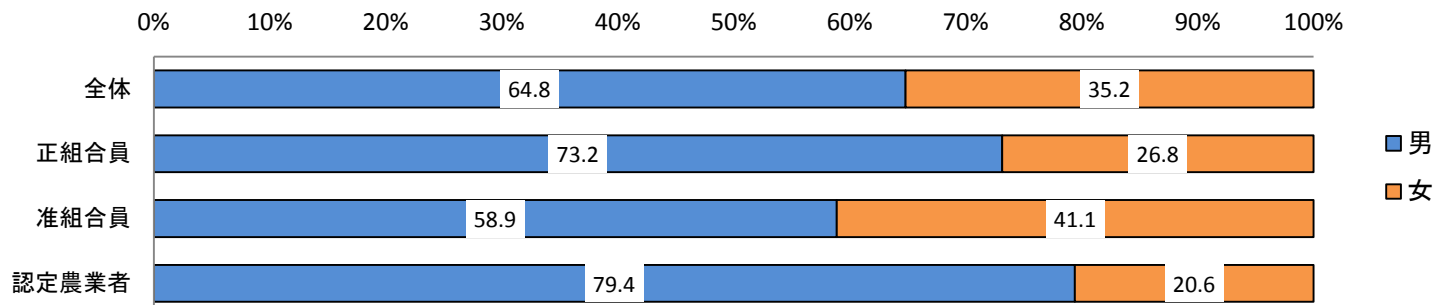


### 平均年齢

組合員全体 68.0歳  
正組合員 71.4歳  
准組合員 65.5歳  
認定農業者 67.9歳

(※) 平均年齢は、各年代の中間値を用いた算出による。

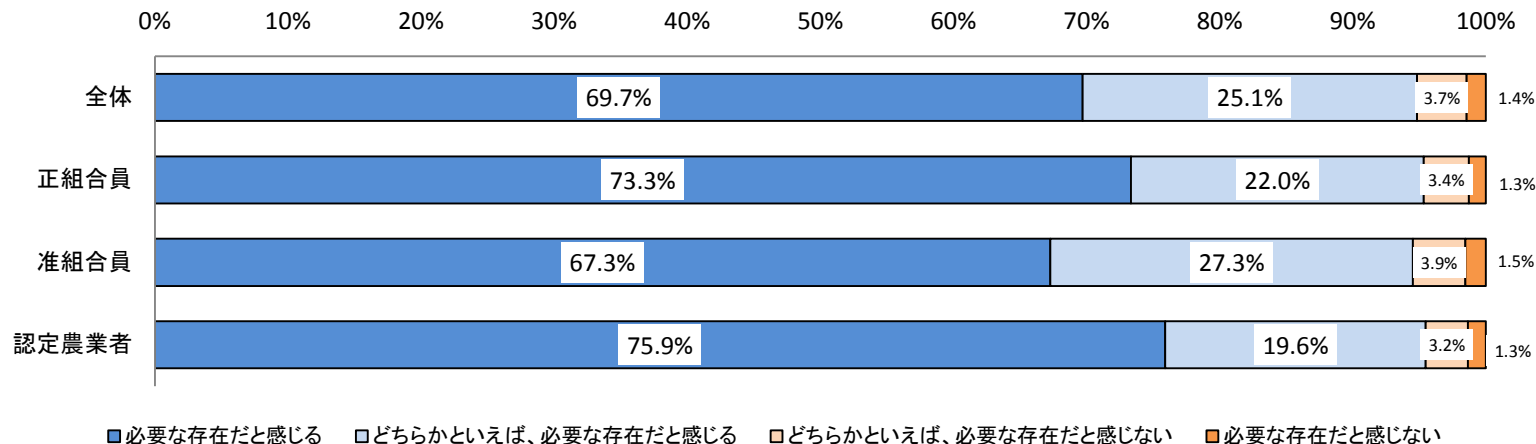
## 性別分布



# 調査結果概要：①総合事業の継続

○ JAの総合事業の「必要性」、「継続すべきか」いずれについても、正組合員・准組合員・認定農業者ともに90%超が肯定的回答をしている。

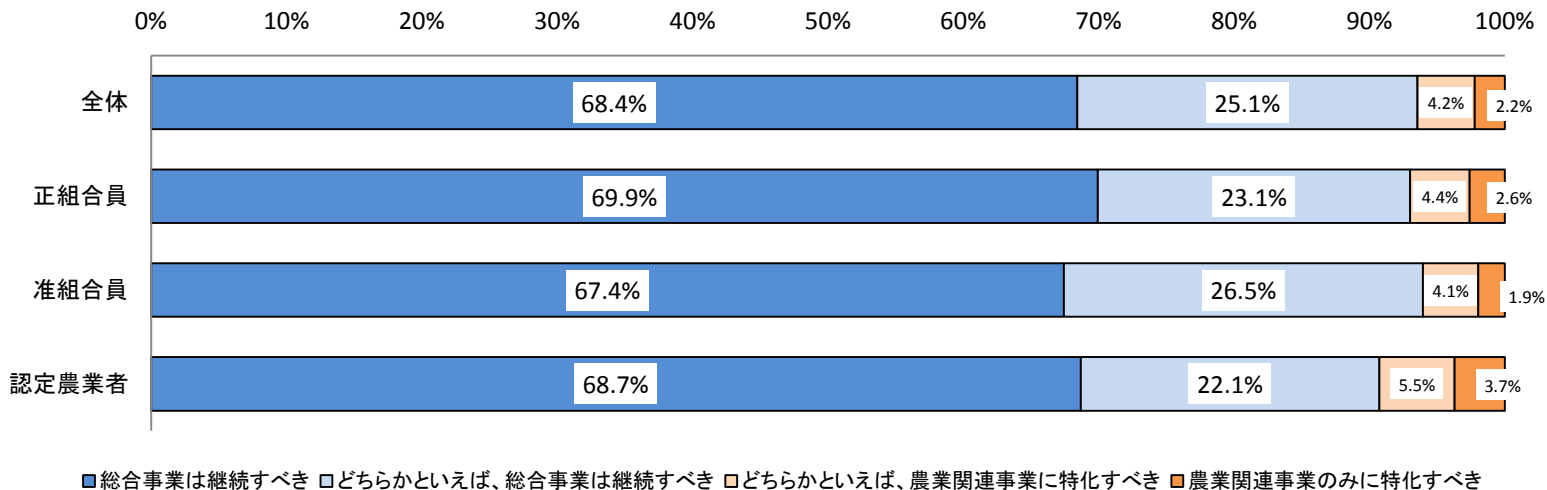
問1B:JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だと感じになりますか？



肯定的回答割合

組合員全体 94.8%  
 正組合員 95.3%  
 准組合員 94.5%  
 認定農業者 95.5%

問1C:JAは、農業関連事業や、信用事業・共済事業など、様々な事業を行っています。このJAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？



組合員全体 93.5%  
 正組合員 93.0%  
 准組合員 94.0%  
 認定農業者 90.8%

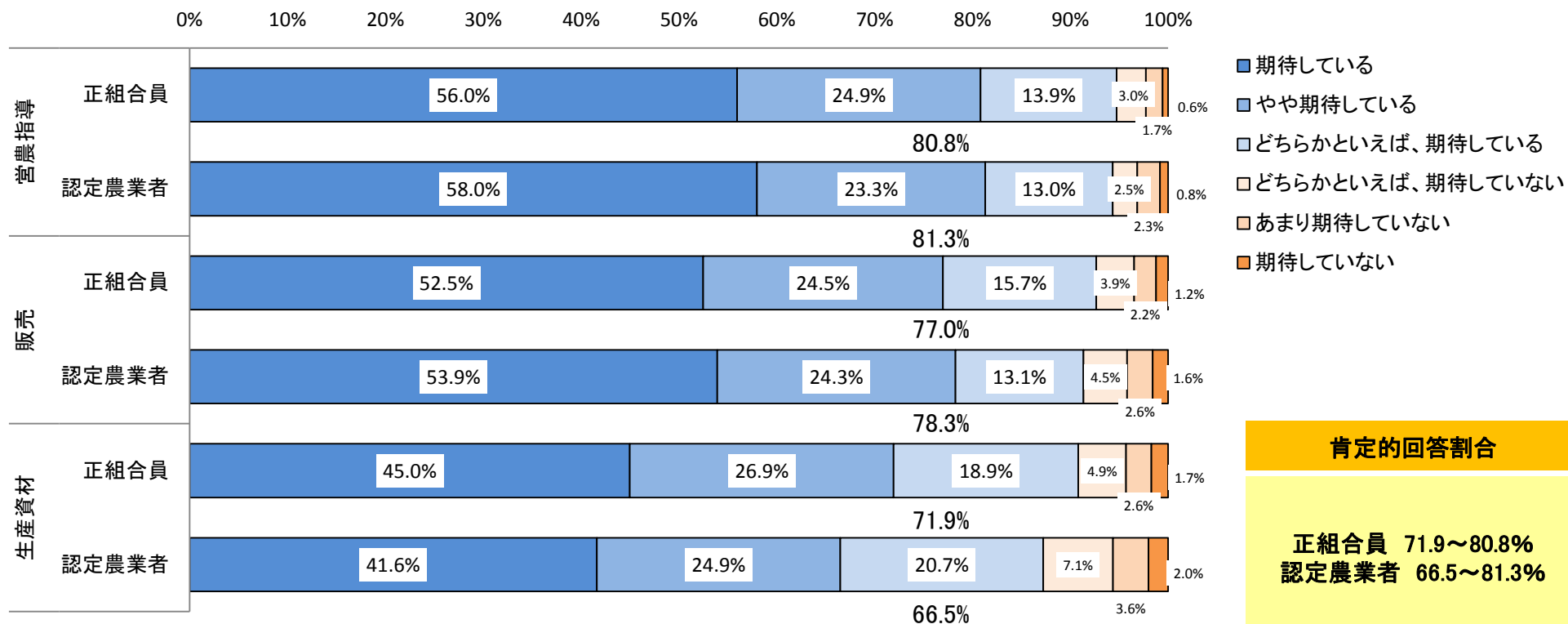
# 調査結果概要：②営農関連事業への期待度、満足度、改善度

○ 営農指導事業、販売事業、生産資材購買のいずれの事業においても、正組合員全体で、期待度は71%以上、満足度は57%以上、改善度は70%程度が肯定的回答となっている。

問2：JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として、下記の3つの事業を中心に拡充・強化することとしています。

1. 営農指導事業    2. 農畜産物販売事業    3. 生産資材購買事業  
それぞれの事業について、あてはまるものを1つ選んでください。

## 期待度

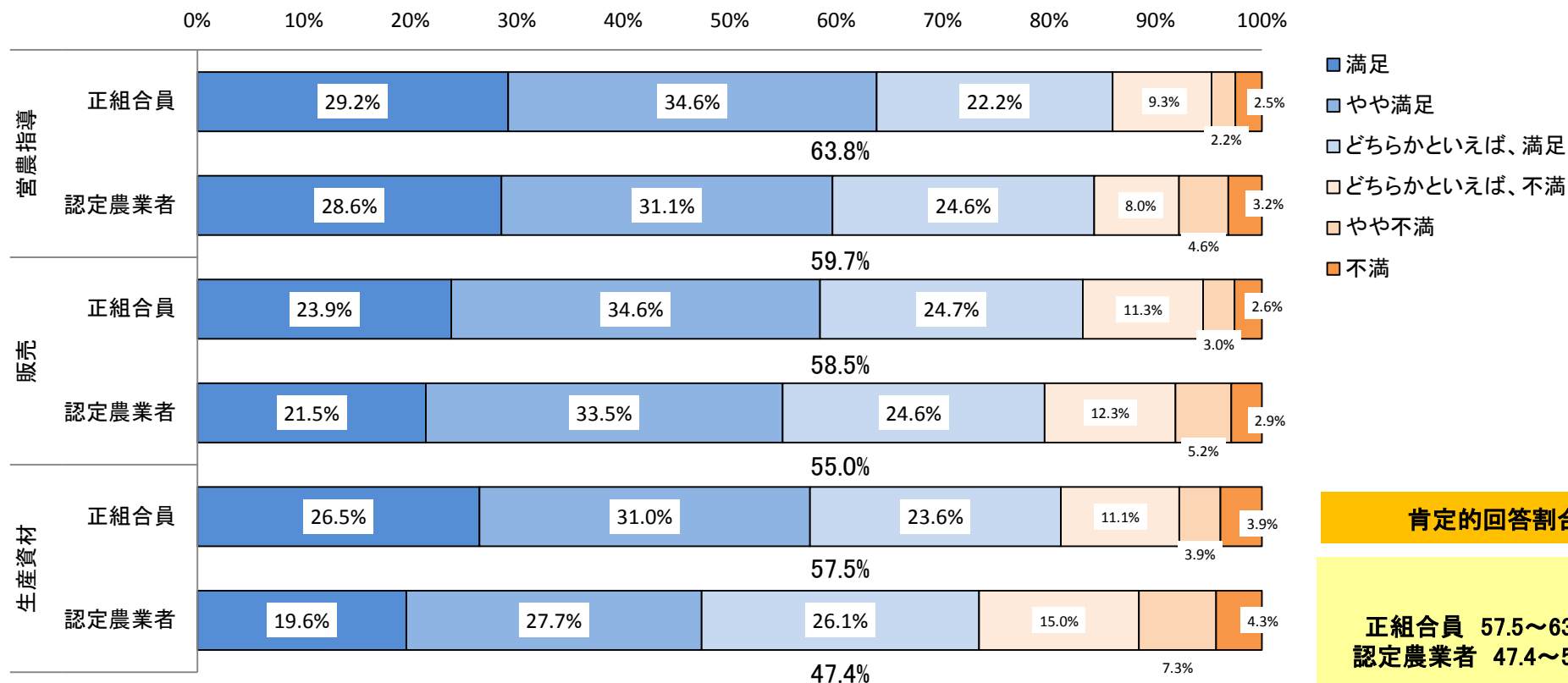


**肯定的回答割合**

**正組合員 71.9～80.8%**  
**認定農業者 66.5～81.3%**

# 調査結果概要：②営農関連事業への期待度、満足度、改善度

## 満足度

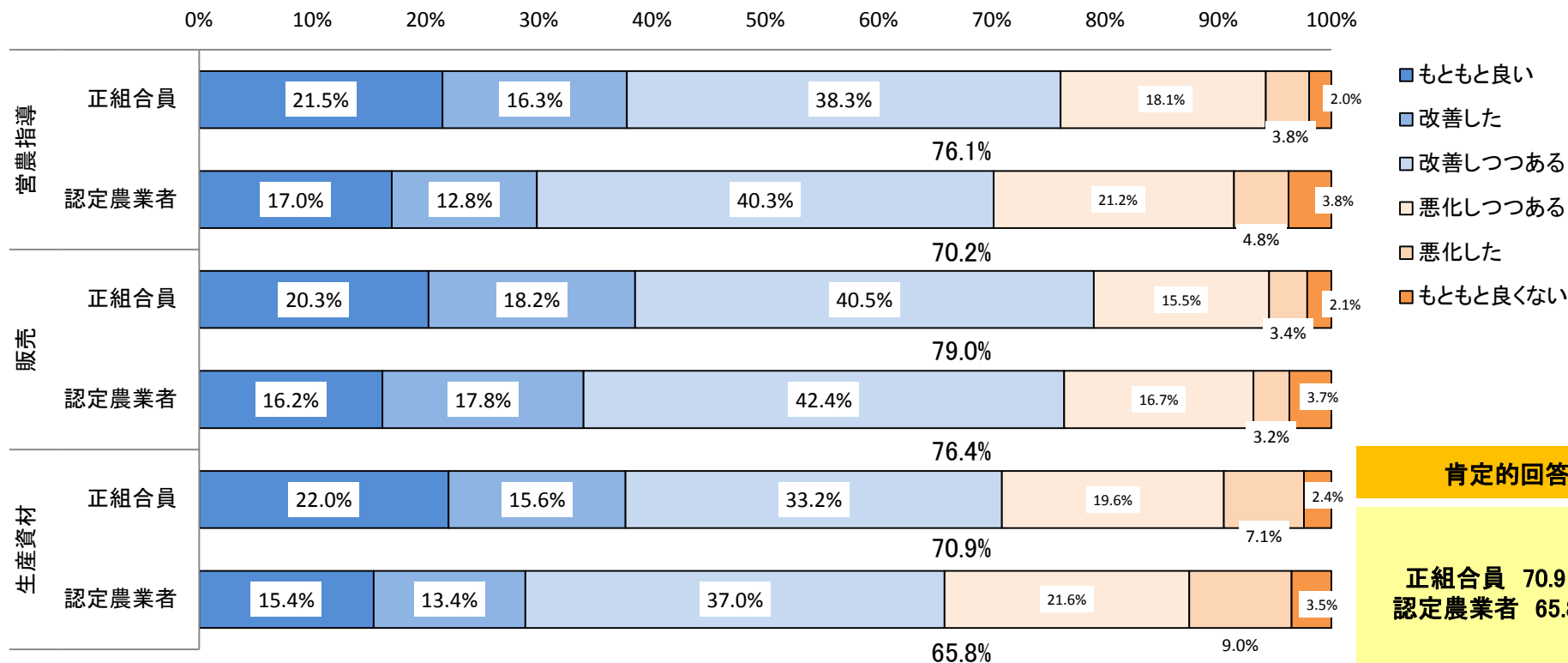


**肯定的回答割合**

正組合員 57.5～63.8%  
 認定農業者 47.4～59.7%

# 調査結果概要：②営農関連事業への期待度、満足度、改善度

改善度  
(3年前との比較)



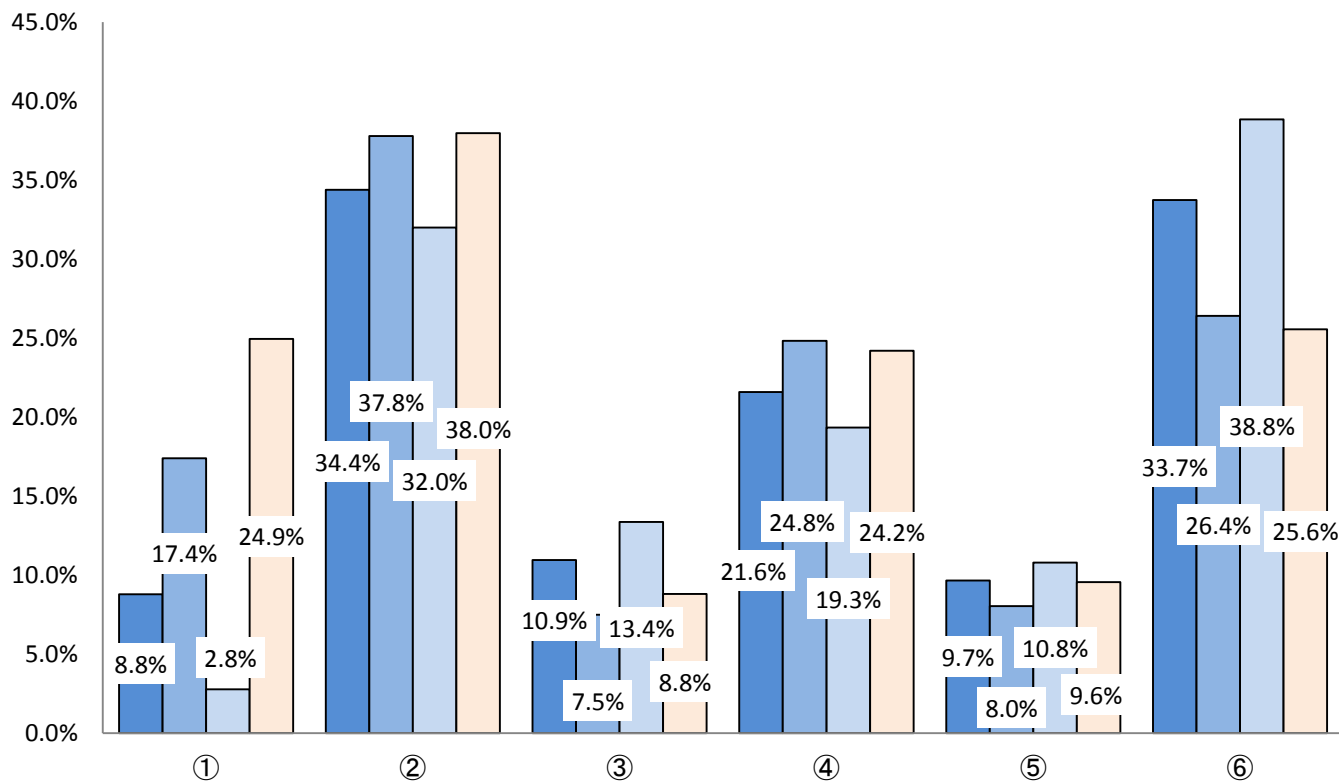
**肯定的回答割合**

正組合員 70.9～79.0%  
認定農業者 65.8～76.4%

# 調査結果概要：③自己改革の認知度

○ 自己改革の認知度は、組合員全体で66%以上となり、特に正組合員・認定農業者で73%以上が何らかの方法で自己改革の取り組みを知ったと回答している。

問3: あなたのJAは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」などを目標とした自己改革に取り組んでいます。こうしたJAの取り組みをご存じですか？（複数回答）



### 【自己改革を知った手段】

- ① 総(代)会、集落座談会、生産部会の会合などで知った
- ② パンフレット、広報誌、新聞、テレビ、ホームページなどで知った
- ③ イベント(JAまつり、ローン相談会など)やファーマーズマーケットで知った
- ④ JAの役職員から直接聞いて知った
- ⑤ その他の方法で知った
- ⑥ 知らなかった

※1 パーセンテージは、有効回答数に対する自己改革を知った手段の回答割合  
 ※2 「自己改革認知度」 = 100% - 「⑥知らなかった」回答割合

### 自己改革認知度

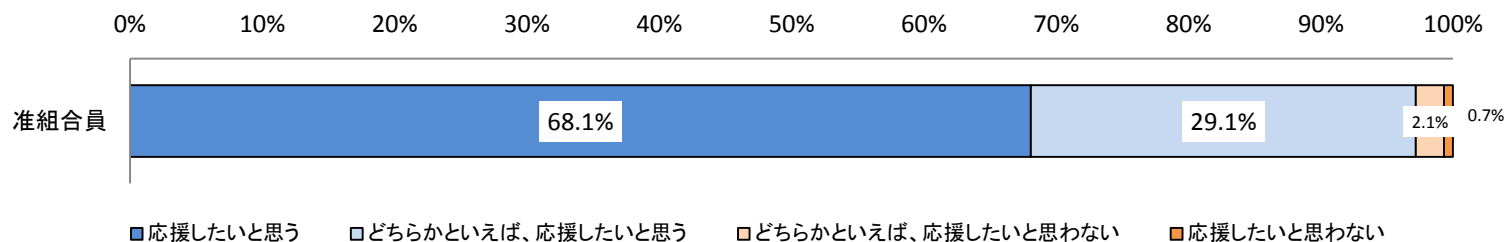
組合員全体 66.3%  
 正組合員 73.6%  
 准組合員 61.2%  
 認定農業者 74.4%



# 調査結果概要：④農業振興の応援団、准組合員制度

- 「農業振興の応援団」については、准組合員の97%がJAの地域農業の振興や地域づくりへの応援に関し、肯定的回答をしている。
- 准組合員の事業利用制限については、正組合員の91%、准組合員の94%が「制限しない方がよい」と回答している。

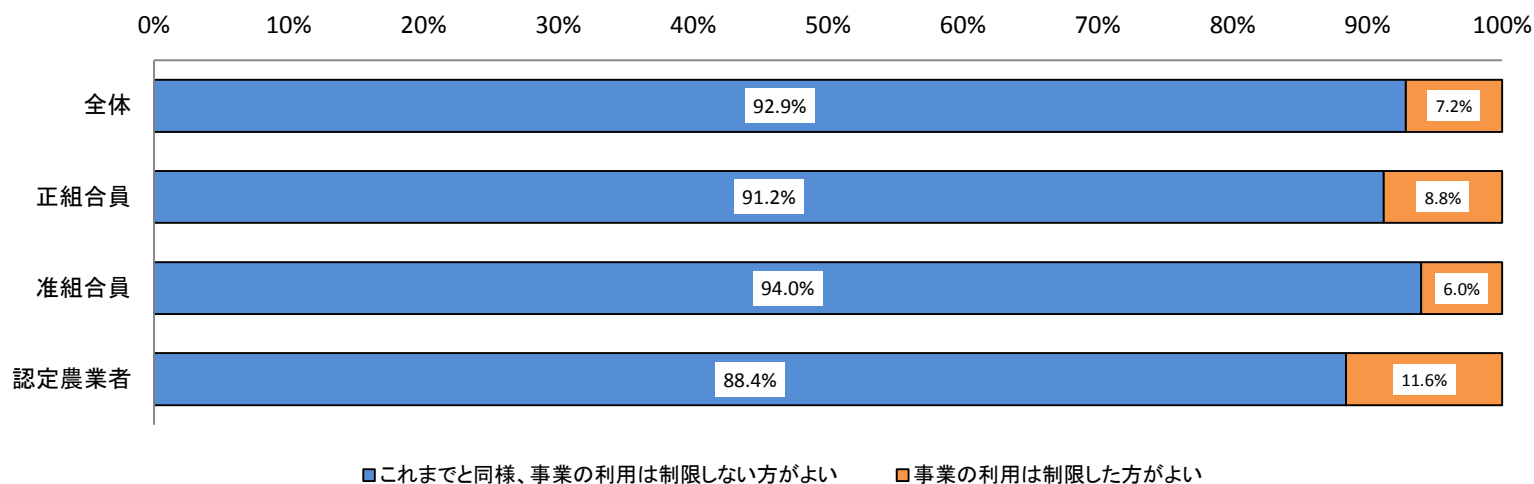
問4A: JAの事業を利用したり、地域の農畜産物を食べることに、農業体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いますか？



肯定的回答割合

准組合員 97.2%

問4D: 准組合員がJA事業の利用を制限されることについてどうお考えですか？



事業利用規制反対

組合員全体 92.9%  
正組合員 91.2%  
准組合員 94.0%  
認定農業者 88.4%

